



宮越 馨

市議会議員

元上越市長2期・元新潟県議会議員1期

渡辺美智雄代議士秘書

大蔵省(財務省)主計局主査

中央大学卒・高田高校卒・三郷小中学校卒

■座右の銘:忘己利他・先公後私

市長は地元上越出身者から!!

みやこしかおるの緊急政策

宮越ビジョン

再び! 夢のある上越を創ります!!

それは太いパイプを生かした第2次上越市改造です!!

間違った市政のかじ取りをとり戻します!

今すぐ《市政の立て直し》を断行!

すべては人口問題です! 出生数の減少を、私が止めます!
事実上の財政破綻を救えるのは私だけです!

総点検総見直し!
市政をリセット



私の信念

私は、新幹線を実現しました! 財政基盤強化の火力発電所立地も実現しました。市長時代に副市長制度、地球環境 ISO14001の全国初の導入などで行政改革全国NO.1に評価されました。

あとは、**子・孫を育てやすく生まれやすく・長生きできるまちづくり**です! 高卒までの子育て費用・医療費・学費・給食費を全額無償化に挑戦します! それは安心で安定したぬくもりのあるまちを創ることです。そしてコンパクトコミュニティ農都市の創生です・

このため、高齢者も若者も女性も、安心して社会が持続できる仕組みのコミュニティを大切に、個から集合体システムで地域を守る「**コミュニティカンパニー(地域経営特殊会社)**」を全国初で創設し、持続発展可能な地域社会を創ります。

そして困っている人を助けることを基本とし、**長期ビジョンJプラン2050**を市民参画のもとで作ります。

そのためには政策が第1です

政策に生きるみやこしかおるは必ずやり遂げます!

以下は私が上越市の発展に取り組む緊急政策です!

先ずは!

- ① 人口増加につながる「子ども年金」の実施
- ② 財政破綻にならないように対策を講じます
- ③ 上越地域医療センター病院の建て替えは直ちに着工します
- ④ 直江津労災病院はコワーキング(テナント)病院(私立病院)として存続させます
- ⑤ 大合併を見直しブロック区制を導入
- ⑥ 私との約束のかがやき号を直ちに停車
- ⑦ 高田城枳形門の復元
- ⑧ 直江津駅前再開発着手
- ⑨ 火力発電所の増設で税収確保
- ⑩ 保倉川放水路のルートの見直し(遊水池の拡大と新堀川ルートへの変更)
- (緊急) 米備蓄倉庫誘致

緊急:地震・津波・防災対策を万全に取り組みます。

- 建物耐震基準を2000年基準へと普及実施するための対策を強化します。
- 港町1丁目に特定公共賃貸住宅を、津波避難所(場所)機能を付し1棟建設します。
- 地震時火災発生防止策として「感震ブレーカー」の設置の無料化を進めます。
- 自助・共助・協働を原則として地域防災力を高める「防災士」体制を充実します。
- 被災復興支援のための地震保険への加入促進政策を進めます。加入保険料の減免措置を講じます。
- 水道管・ガス管・下水道管の老朽化・耐震化対策をスピードアップさせます。
- 万が一の災害に備えて、災害復旧・復興基金を創設します。
- 私の持論である「消防防災署」構想を実現し、国の防災庁構想と連動し予防防災機能を高めます。
- 火災・災害の多発を受け、消防団員の要員不足の解消策として、消防防災出動手当を倍増します。
- 国の基準に準じた市独自の災害救助基準(豪雪条例の改定・将来は1m以上)を策定します。
- 消防防災力の向上のため、山麓線沿線の人口密集発展地区に消防分遣所の設置を進めます。
- 柏崎刈羽原発から安心安全を守る。原子力災害UPZの有効性を確保します(避難所シェルター等)。

今「あなたのまち」で困っている課題に直に取り組みます。

- 身近な町内道路の改良・加温式消雪施設整備・空き家空き地空き店舗対策・土地利用の規制緩和・安心安全施設整備・通学環境整備・交通アクセス改善・都市計画道路の新設・廃止など身近な課題です。土地利用の用途変更は柔軟に対応。
- まちづくりの進展促進と防災都市づくりに効果的な「**地籍調査**」(GIS)を推進します。
- 南本町3丁目変則十字路を大町通りへ双方向化。本町7丁目変則交差点の改良に取り組みます。
- 各地区の大戦殉教者慰霊碑に対する管理保存事業の課題整理に取り組めます。
- パーク&ライド・少年野球所パーキングの未舗装部分を舗装化します。
- 全市のすべての施設にwifiを整備し、災害時緊急時の通信環境を改善します。
- 全市の主な公設施設のトイレ数不足の解消とトイレの美化を進めます。
- 水族館うみがたりのパーキングの近接化のため、隣接のグラウンドと位置変えに取り組みます。
- 高田城観桜会グレードアップのため、鴨島インター・中央橋から高田城までの間の桜並木を整備します。
- 高田郵便局駐車場の拡張を行い、利用者の利便性向上に取り組めます。
- 高田公園内の「春秋会館」を中・高生広場に改装します。
- 女性の生活目線でのまちづくりを進めます。

《子孫育て・少子化対策》

1 異次元の人口増政策「子ども年金」制度(第3子以降月額5万円)を実施するとともに子や孫を育てやすいまちづくりに全力で取り組みます。

「子孫育て都市宣言」を制定します。

- 国が私の「子ども年金制度」の考えを取り入れ、第3子以降の子に対し、高卒(18歳)まで月額3万円を給付することとなりました。市としてこれに2万円を上乗せして月額5万円とします。この政策は出生数の増加政策です。
- 新たに「子孫育てするなら上越市」のスローガンの下、高田公園野球場の跡地にフルスペックの「こどもの城」を創設します。オーレンプラザのこどもセンターを移設し、後利用を100人規模の小ホール、会議室に転用します。
- 子育てに係る保育料(含む病児病後児)・医療費・給食費・おむつ代・産前産後ケアなどあらゆる子育て負担の無料化を目指します。
- 空き校舎などを活用し、地域住民の集える場所づくり、地域食堂(子ども食堂)の経営、地域図書館、放課後子ども教室などを全市内に整備します。
- 旧上越市内中学校単位に三世代交流プラザを整備します。(EX:北本町2ガスタンク跡地など)
- 現在の13区各総合事務所に三世代交流プラザを整備します。
- 多子家族世帯への家族住民税減税制度の導入(優遇税制)、多子家族世帯への表彰制度を制定します。

《お年寄りを大切に》

2 高齢者(年金生活者等)へのナースコールタウン構想などを進めます。

- 高齢者の通院負担の軽減、緊急事態に備えるため、自宅を病室代わりとして位置づけ、自宅にナースコールボタンを設置し、必要なときに病院及び開業医との連絡がとれる安心体制システムを構築します。
- 脱介護地獄環境整備へのサポート支援体制を強化します。(外国人など介護人材の確保育成)
- 遠隔地オンライン診療体制を確立。特に中山間地対策を重視します。
- 運転免許返納高齢者など超高齢者への買い物代行、運転代行システムを構築します。
- 市街地循環200円バスを運行(病院・スーパー・商店街など)します。
- 元気高齢者へのリカレント教育など社会参加推進事業を進めます。
- フル規格のグランドゴルフコースを新設します。
- ポイント付き健康ウォークコースの整備を進めます。
- 名立「ろばた館」・板倉「やすらぎ荘」を残します。

《若者・女性の未来に希望を》

3 若者・女性が未来へ生きるために全力で取り組みます。

- 「子ども年金」の実現はもとより、徹底した子育て環境の充実、男性の育休環境の充実(育休取得率50%)を目指します。
- 女性の社会参画を進める体制を強化するためにあらゆる対策を進めます。(女性の管理職30%)
- 女性活躍推進プラットホームを立ち上げます。
- 若者・女性リーダー育成のため、リーダー塾「奴雁塾」を立ち上げます。
- 高校生時代への支援を強化するため、高田駅前を作る「合同庁舎(税務署・年金事務所)」内に図書館及び「高校生広場」を作るとともに、通学の利便性を高めるため高田駅西口を作ります。南高田駅を移設し利便性を高めます。
- 学生児童の居場所づくりのため、高田図書館に併設して「自由学習棟」を増設します。
- 若者文化を振興するため、「アニメ」「マンガ」「デザイン」「高田本町ストリートアート」でまちおこしに取り組みます。
- スキーの発祥地のレガシーとして金谷山スキージャンプ台(ランディングバーン)を整備します。
- 金谷山レールヒスポーツパーク構想として、スキーBMX・MTB・スケボー・パンプトラックなどアクティブスポーツの拠点整備を進めます。
- 板倉・光が原高原(光原荘、ロッジは維持)に若者モトクロス・スノーモービルグランド基地を整備し、信越トレイル基地整備で北信越のグランドスポーツのメッカにします。
- 若者や、中高年の引きこもり(全国146万人)問題への

取組に積極的に向き合います。

- 不登校(全国小中35万人)・貧困児童(9人に1人)への対策強化、ヤングケアラー(高2で4%、中2で6%)に対する支援体制を強化します。

《大合併の見直し》

4 大合併の見直しを進め、新しい上越市の姿としてブロック区制の導入を図ります。

- 大きく広くなり過ぎて地域の特性が失われ、人口減少と財政収入の減収を加速させた大合併後のガバナンスの在り方を見直します。
- 大上越市をブロック化し、頸北ブロック区・東頸ブロック区・中頸ブロック区に再編し、それぞれ副市長クラスを区長として配置し、権限と財源の裏付けのある地域自治の理念を明確にした新たなガバナンス体制を構築します。
- 現在の総合事務所棟に行政代行・JA・郵便局とのワンストップサービスが可能な合同事務所機能を整備し、コミュニティカンパニー(地域経営会社)の拠点を置きます。
- 中郷区を上越市から妙高市へ再編成します。

5 地域の活性化のため地域協議会を廃止し、自前のまちづくり協議会に改編します。

- 大合併の見直しにより、従来の地域協議会を廃止し、ブロック地域協議会に改編する。高田ブロック・直江津ブロック(名立を含む)・頸北ブロック・東頸ブロック・中頸ブロックに区分する。市の行政機関ではないが、市長からのブロックに係る行政事案に対し、諮問を受け答申はできることとする。
- 委員の構成は、ブロック単位で公募委員から半数、地域活動団体(町内会・協議会・振興会など)から半数を推薦選出する。
- 28地域ごとに、市から独立した「自前のまちづくり協議会」を立ち上げ、自主的に配分される予算内で事業を行うこととする。ただし事業実施報告はブロック協議会に行った後に市に対し行うこととする。
- ブロック地域協議会委員の構成は、おおむね男女は同数とし、若年層も積極的に登用を図ることとする。
- 地域独自予算制度は廃止し、従来の地域活動支援事業として配分された事業予算内で、一定の支出基準を満たした上で、「自前のまちづくり協議会」が独自で事業を選定し、自主的に事業を行うこととする。

《センター病院の建設は即着工。直江津労災病院は形を変えて存続》

6 上越地域医療センター病院の建て替えは直ちに着工。直江津労災病院を、コワーキング(テナント)病院として残し、私立病院として更に充実させます。

- 老朽化が激しい上越地域医療センター病院の建て替えは直ちに着工します。
- センター病院は、リハビリ専門病院と総合診療科を中心にする高齢者慢性期医療病院として充実し、「リハビリパーク(公園化)」として、地域住民が活用しやすいゾーンとして整備します。
- 建て替え場所は、リハビリ棟を残し、病院敷地内の南西部に新たに本院を新設することから、現在の医療業務には支障ありません。直ちに建設着工は可能です。
- 歯科口腔外科の移設は無駄になります。労災病院をセンター病院の分院として経営しますから移設は必要ありません。手術室は労災病院で行いますから不要です。
- 新潟労災病院については、私が市長時代に国立高田病院を国から市が移譲を受け、上越地域医療センター病院を開院させましたが、直江津労災病院を労働者健康安全機構(国)から市が移譲を受け、上越地域医療センター病院の分院として残し、高齢化社会における地域の医療機関として市が責任をもって病院経営をします。
- 加えて余裕のある病棟の活用としては、民間医療福祉機関の入居を促すとともに、県管理の緊急感染症病棟及び災害時避難所として一定部分をキープし、更に空き病棟には、開業医を希望する方々の診療所スペースを用意する構想で進めます。

《新幹線駅周辺まちづくり》

7 直ちに《かがやき号》を停車、新幹線周辺のまちづくりを大胆に進めます。

- 直ちに《かがやき号》の停車を実現するとともに、《あさま号》の始発化を目指します。かがやき号の停車問題は私が市長時代に約束した案件です。
- 新幹線から南高田に向けての都市計画道路をつくり、大規模区画整理事業を実施し、基本コンセプトをスマートタウンのまちを念頭に、そこにホワイトパレー構想(研究学園都市的機能)を実現させます。将来的には公共機関の移転整備を進めます。また、首都圏の大震災の際の受け入れ疎開地として整備します。
- 新幹線東口に、官民一体となりサテライトキャンパス(首都圏の大学など)を中心としたインテリジェントビル(市が出資)を建設(21F)し、オフィスなども誘致します。また、首都圏からの北信越のビジネス拠点・企業誘致にも取り組みます。
- 新幹線駅周辺のビジネス拠点整備に加え、スタートアップ企業の育成に力を入れます。
- 新幹線西口の大調整池を下流に移転させ、地下駐車場を備えた公共パーキングを整備し、1Fにスーパーなどを開設した高層ビル化を進めます。
- デジタル田園国家構想を具現化した「デジタルアーバンビレッジ」を駅周辺に複数整備します。
- トミオカホワイト美術館を里帰りさせ、西口妙高山が展望できるポイントに整備します。
- 妙高市との連携(両市観光協議会を結成)による駅づくり及びインバウンド受け入れ態勢を強化します。
- 新幹線駅構内を拡張・ショッピングモールを拡張充実し、送迎フロアにトイレを設置します。
- 東口謙信公広場に郷土の偉人像(前島密・坂口謹一郎・小林古徑・小川未明・川上善兵衛・室幸次郎・国友末蔵・吉沢謙吉・荒井賢太郎・増村朴斎・増田義一など)を整備し観光案内の一助に活用します。旧脇野田駅を復元し活用。
- 新幹線東口からバイパスに向け整備されているボプラ景観並木を新幹線駅まで延伸植栽します。

《城下町高田のまちづくり》

8 雪国高田の克雪まちづくりと本町活性化を強力に進めます。

- あらゆる狭隘道路の無雪化のため、私が考案した「加温式消雪パイプ」を必要な道路に導入し、暮らしの安心安全を守ります。
- 高田地区市街地の一斉雪下ろしの無い街にします。雁木通りの整備(雁木の連坦化など)。耐雪型耐震型建築物へ改良するために支援します。
- 近年の雁木通りのまちでの火災多発に備えて、空き家空き地を活用した防火帯整備を進めます。
- 儀明川ダム(私が大蔵省時代に採択)の早期完成で流雪溝など消雪用水源を確保します。
- 身近な雪捨て場を十分確保し、住民生活の負担を軽減させます。
- 高田駅前に合同庁舎を建設し、税務署・年金事務所を入居。高田図書館の分館・高校生広場を併設、寺町への高田駅西口を新設します。
- 本町3〜5丁目区間のパーキング3時間無料化(事実上の無料パーキング化)
- 本町3〜5丁目区間の空き店舗を3年間新規無料店舗化し、若者たちを本町へ誘導します。
- 本町3丁目のまちかど交流館にまちかど美術館を併設し、本町全体をアートストリート化を目指します。(学生参加)
- 本町6丁目・大町5丁目に「昭和レトロのまちづくり」を時間をかけて整備します。

9 高田城復元及び高田城址公園の整備を推進します。

- 高田城枳形門の復元は直ちに着手し、「時の鐘塔」を本町3丁目お馬出しの所に復元します。
- 高田公園内の三層櫓と図書館の間の芝生広場に「和風レストラン」を民間主導で建設(1F土産物・喫茶、2Fをレストラン、大型観光バス可)します。
- 高田公園内中央道路をスタバ交差点へ切り替え、公園の分断化を解消し、安心で安全な利用しやすい公園にします。
- 老朽化した高田城址公園管理棟を建て替えます。

《港町・直江津のまちづくり》

10 悲願の直江津駅前再開発

- 南小学校を直江津小学校へ統合させ、跡地に屋台会館と祭事(イベント)広場を整備し、次に直江津駅まで順次再開発を進め、新しい直江津の顔づくりを始めます。
- 直江津駅再開発基本構想の立案に取り組みます。住民参加型を重視します。
- 軽便鉄道を水族館うみがたりまで敷設し、直江津の中心地をレールタウン化します。
- 市立交通公園内のD51を直江津駅前に移転し軽便鉄道駅と一体整備します。

《観光資源の整備》

11 観光資源の重点化事業を推し進めます

- 高田城の復元を順次進めます。まずは「**枅形門**」の復元に着手します。同時に本町3丁目に「時の鐘塔」を復元します。
- 春日山城の「**総構え**」を復元し、隣接地で天守台の見える場所に「観光物産センター・大型レストラン」を整備します。
- 埋蔵文化財センターを謙信公ミュージアムに改称し、観光資源対応として「春日山城の大型ジオラマ」を増設します。
- 「**春日山駅**」を「**謙信公駅**」に名称変更し、春日山城のPRを全国に発信させます。
- インバウンド需要に対応する上越市独自の「越後パッカス街道」(酒蔵・岩の原ワイン・クラフトビール・温浴施設・くわとり湯ったり村・坂口謹一郎記念館など)を市内全域にわたり連携整備します。

《人材育成・外国人の受け入れ》

12 様々な人材育成確保対策(外国人受け入れ)を進めます。

- 医療機関における医師確保対策として住民税減免・新幹線通勤費助成など医師確保に取り組みます。
- 医療・介護・福祉関係の人材確保育成にかかわる環境整備に取り組みに支援体制を強化します。
- 上越人材ハイスクールにおける職業訓練体制の強化を図り、更なる「職人」の人材育成に取り組みます。
- 外国人労働者の受け入れ環境の整備を促進するため、上越人材ハイスクールにおいて外国人労働者への日本語教育及び技能研修体制を強化します。
- 外国人労働者の言語教育・技能技術研修の場として、旧大島中学校の空き校舎(寄宿舎)を活用し、外国人の受け入れ態勢を整備します。また、住民とのコミュニケーションUPを図ります。
- 外国人労働者を求める製造業・建設業・福祉施設・運輸業などに対する支援体制を強化します

13 IT人材の確保のためIT高等専門学校を創設します。

- IT人材の育成のため、新幹線駅前のサテライトインテリジェントビル内に、IT高等専門学校を整備します。
- IT・AI・デジタル・デザインなど多様な人材を生み出す教育を目指します。
- 県外からの生徒を募集するため、空き校舎の宮嶋小及び山部小をリニューアルし、学生寮及び起業コワーキングスペースとして活用します。
- 新幹線駅から学生寮まで自動運転EV車を運行させます。

《ふるさと市民制度を創設》

14 新たに「ふるさと市民制度」を立ち上げ、全国の上越市出身者を結集します。

- 「ふるさと市民」の定義は、上越市出身者で市外に居住する者で、Jネットなど郷土クラブなどのメンバーに加えて登録希望者を市が認定し、市民称号を付与した者とします。
- 市外居住の「ふるさと市民」への様々な情報(行政情報など)を提供します。コメの安定販売など。
- 行政サービスへの意見具申など市民活動への参加はできます。
- 「空き家管理」サービス(有料)、墓参代行サービス(有料)の提供が可能です。
- 出生地域の祭りや棚田農作業への参加を促します。棚田オーナーも可能です。
- ふるさと納税の返礼品優遇サービスを充実します。
- 市外居住学生への様々なサポートサービス・情報提供などを行います。

15 全力「ふるさと納税」で地域経済を活性化させます。

- 年間納税額を30億円以上の確保を目指し、地場産業の振興を図ります。
- 「上越米」の食味連続9年間特Aを大いに宣伝し、積極的に返礼品に採用。また、米の新品種(にじのきらめき)をラインアップし、ふるさと納税額を獲得します。
- メイドイン上越の特産品を返礼品として大いに活用します。また、新たな商品開発に取り組み地場産業の発展に貢献します。
- ふるさと納税の返礼品として「体験型」などコト消費の対応を強化します。

16 企業誘致戦略のため「ふるさと人材プラットフォーム」を立ち上げます。

- 上越市出身の市外・県外・世界で活躍されている方々をふるさと市民に認定し、「人材プラットフォーム」を立ち上げ、マンパワー及び企業誘致に資するバックアップ態勢を作ります。
- 私の人脈で大きな事業誘致が実現できた例として、「上越共同火力発電所」「太陽誘電」「荏原ユージライト」「アパホテル」などがあり、今後はITばかりではなく製造業や筑波研究学園都市のミニ版的な企業事業所などを誘致します。特に本社機能を持つ法人を誘致します。

《空き家・空き校舎など対策》

17 空き家・空き地・空き校舎・空き店舗対策

- 空き家等対策特別措置法施行による固定資産税の減免措置(6分の1)が廃止されることを受け、空き家の実態把握及び可能性のある空き家予備軍のリスト作成し、空き家解消計画に取り組みます。
- 雁木通りなど家屋連地地域に多い、空き家対策の実態把握と抜本的な対策を講じます。
- 雁木通りの空き家・空き地対策として2個1住宅の推進及び防火帯としての整備を進めます。
- 空き校舎を、三世代(多世代)交流プラザ及び市営住宅へ転用(リノベーション)し地域住民の持続的コミュニティの場づくりに取り組みます。

《公の仕事は地元を優先に》

18 公共事業及び公的事業の発注契約は地元事業者を優先にします。

- 公共事業及び公的事業の事業者選定は、地元事業者を優先し地域の活性化を図ります。
- 様々な公的事業の発注契約に当たっては、最低制限価格制度(80%⇒90%)を導入し、事業執行者の利益が適正に担保されるように事業の執行を改善します。
- 大合併前後における公的事業の発注契約は、地域性を考慮した公平な事業執行態勢を維持します。
- 地元中小企業との常設情報交換会議を起こします。

《全国初のコミュニティカンパニーを創設》

19 総合事務所に「地域経営会社」を設置。併せて郵便局・JAを併設し、ワンストップサービスの拠点として整備

- 個人から協働的地域経営システムである「コミュニティカンパニー(地域経営会社)」を農山村地域に導入します。
- 概ね小学校及び中学校単位のコミュニティごとに設立し、本社を各総合事務所などに置き、ワンストップサービスを提供できる体制を整備します。(全国初)
- 参加構成者は、地権者・農林業者・農業法人・JA・土地改良区・森林組合・郵便局・地縁団体・土建業者・観光業者・行政退職者・都市住民・専門家・常用雇用者・資本参加者縁故者など。
- 農林業を中心とする事業とコミュニティ全体へのワンストップサービス体制をつくり、加えて現行の行政サービスも受託し、自治体からの事業代行交付金を得るシステムにします。
- 特にスマート農林業態勢を重視し、観光・物産など多面的事業の展開で若者の参入を促します。
- 郵便局などとの業務コラボレーションを進め、特に中山間

地域の「足」代行や「買い物」代行あるいは見守り安否確認など、行政サービスの代行業務を行う体制を整備するとともにJAの営農参画を促します。

《農都市上越をさらに発展》

20 農業・農村・農民を大切に、持続できる農村社会をつくりま。

- 全国に先駆けて制定した食料農業農村基本条例(農都市条例)を国の基本法の改定に合わせ改定し、儲かる・得をするイノベーション農林漁業を目指し、新しい時代に相応しい農都市を目指します。
- 農山村の持続可能システムとして、コミュニティ経営会社(共同体)をつくり、農林業の協働体制と様々なコミュニティサービスの提供(行政サービスの代行など)を行えるシステムをつくりま。
- スマート農業は勿論、若者が魅力を持てる新しい農林業をスタートアップさせ、儲かる農業を探索します。
- DX技術を駆使し、圃場管理の合理化(名寄せなど)を進め、耕作受託し易い農業経営の効率化を図ります。
- 農福連携事業の推進、農福連携サポーター養成事業への支援を強化します。
- 間伐材などバイオマス資源を活用しての「バイオマス発電所」の建設に取り組みます。

21 農山村半農半Xスタイルのアメニティ社会を創造します。

- 我が上越市は農村と都市が融合した「農都市」です。政策の根本理念はグリーンアメニティ構想(私の持論)にあり。自然・生産・生活の快適調和がとれたまちを目指します。
- 農業農村の持つ「食べ物をつくる」「多面的機能」を生かした「モデル農都市上越市」を創ります。
- 農村が輝けば街も輝く、街が輝けば農村も輝く!の価値観を定着させます。
- 農都市上越での半農半Xは豊かな人生を生み出します。自給自足の理念が保てるように取り組みます。

22 農林水産分野での特産物の振興を図ります。

- 牧区のイタヤカエデ(メーブルシロップ)の造林を大規模に進めます。
- 正善寺の特産品ミョウガ栽培・茶畑の復活をめざします。また、新たな特産品開発に取り組みます。
- 直江津漁港周辺で栽培漁業センターを整備し、減少する漁業資源(サケ・ウナギ等)を確保します。

23 中山間地耕作放棄地に対し自然回帰事業を創設します

- 加速度的に増加する中山間地の耕作放棄地などに対し、国土保全のため、防災植林を進めるなど自然に回帰させる事業を創設(全国初)します。(コミュニティカンパニーが対応)
- 廃屋など放置空き家などに対し公費解体対策を講じ、美しい山間地へと自然回帰事業を進めます。
- また獣害を防ぐための電気柵の徹底化、熊の好物であるクリ・ドングリの植栽を進めます。
- 農地管理の負担軽減のため自動草刈機の導入を促進します。

《重要インフラ整備を促進》

24 政治力を生かし、港・保倉川放水路(見直し)・上沼道(私の発案で十日町魚沼まで繋げる構想)・儀明川ダム(私が大蔵省時代に新規採択)の早期完成を目指します。

- 三大公共インフラ整備には、大きな政治力と地元住民の熱意を結集させる住民運動が要です。先頭に立って事業の促進に向け、新幹線誘致運動並みに全力で取り組みます。
- 上沼道は東頸城の皆さんの「命の道路」そして上越地域への「物流の革命道路」です。
- 儀明川ダムは高田地区の「暮らしを守るダム」です。
- 保倉川放水路は住民と企業を「災害から守る重要な放水路」であり、決して住民の分断は避けなければなりません。現在の構想案は企業団地の拡張への壁となり、また、火力発電所の拡張にも壁となります。このため緊急遊水地の拡張を進めるとともに、新堀川放水路ルートを活かした整備に転換させます。

●長野圏域・関東圏域を視野に入れた国際物流基地の確保のため、直江津港湾に予定されている国際埠頭の整備に着手し、加えて大型ガントリークレーンを導入し海上陸上の物流の増加を図ります。

25 火力発電所の増設及び水素製造装置の建設を進めるとともに、温熱利用による植物工場群の整備を進めます。

- 電源立地用に整備した未利用地に、もう一基の火力発電所及び水素製造装置の建設に取り組めます。
- エネルギー基地及びガス供給基地の東側海域に LNG 基地（火力発電所）の増設を図るとともに、CCS（CO₂の回収・貯留）基地の誘致を目指します。また、データセンターの誘致にも取り組みます。
- 日本海水加工の廃鉱地に太陽光発電所を建設し水素基地へ送電し、また、街なかに水素ステーションを作る事業者へ支援し、水素社会の実現に取り組めます。
- 火力発電所から出る温熱利用として、大規模な植物工場（野菜・イチゴ・バナナなど）の建設を進めます。

26 えちごトキめき鉄道への支援体制の強化に取り組めます。

- 新幹線フル規格誘致の際、JR 東が並行在来線として、現在のえちごトキめき鉄道の運営を引き受けなければフル規格新幹線の建設には同意しないとの意向があったので、やむなく在来線の引き受けをしたのです。その際の地元側としての交換約束として、すべての特急列車を新幹線に振り向けると約束したのです。しかし現在も当時の特急の中で未だ振り替わっていない「特急白山」が残ったままなので、その振替分として

「かがやき号」の停車を求めるのです。

●トキ鉄駅 IC カード自動改札機を導入します。

- 実は新幹線フル規格が運転開始時点から、在来線の経営は厳しくなる事が予測されていたのですが、新幹線効果は計り知れなく、未来への希望が担保されるが故に、経営の支援を継続します。
- 乗車効率を上げるため、新たに、**藤巻のところに上越教育大前駅を新設し、運行ダイヤの改善のため、新駅内を複線化します。**加えて駅前にモダンなニュータウンを造成します。
- 鉄道沿線に景観形成のため桜並木を植栽する。
- 南高田駅前を再開発（高校生広場）します。**

《カーボンニュートラルの促進》

27 地球環境「カーボンニュートラル都市宣言」の実効性を高めます。

- 市民版 ISO14001 の取得へ取り組むとともに、**地方創生 SDGs「環境未来都市」建設**へ取り組みます。
- 2050 年カーボンニュートラルを目指すゼロカーボンシティの実効性を高めます。
- 新規住宅への太陽光発電設置の義務化及び既設住宅への普及促進策を講じます。
- 農道農地への営農型太陽光発電の普及促進に取り組めます。
- 直江津・大潟・柿崎海岸への風力発電所建設の可能性に挑みます。**

《行財政改革基盤の強化及び企業誘致》

28 財政基盤の確立のための火力発電所の増設・企業団地整備・税源涵養策に取り組めます。

- 上越共同火力発電所立地に際して約束した**電源立地協力金60億円の未収分の確保**に動きまします。
- 電源立地埋め立て地の未利用地にもう一基の火力発電所建設を進め、税源涵養に取組みます。**
- 企業誘致のため不足する企業団地を県営産業団地の東側へ新潟県と協力し増設（30～50ha）を図ります。
- 流通業務団地を、上越インター周辺都市計画道路「黒井藤野新田線」沿線に新潟県との協力で時間をかけて整備（30ha 規模）します。
- 新幹線和田地区七ヶ所新田第2企業団地の隣接地に第3企業団地を整備します。（税源涵養）
- 直江津駅前再開発**を進め、まちの価値創造を図ります。（税源涵養）

29 市政の総点検・総見直し やってみたい市役所改革・働き方改革！

- 人口減少阻止に向き合う専門部署として「**人口対策課**」を設置 ●残業ゼロ職場を実現 ●女性管理職登用割合30%を達成 ●男性育休取得率100%へ挑戦 ●無駄な会議、無駄な資料廃止宣言！ ●現場行政の徹底化 ●市民サービス行政手続きの簡素化 ●定年退職職員の再任用期間中における役職延長制を導入し、併せて副業を認め、社会の人材不足の解消の一助にします。
- 一般社会に先行し、孫休制度を導入 ●**終活相談窓口を開発** ●イノベーション ISO56002 取得に挑戦 ●スーパー公務員を養成（ライセンス制導入） ●**市政のマーケティング化へ推進します。** ●IT婚活アプリを導入 ●ふるさと市民課を設置します ●中央官僚の地方創生チーム受け入れを進めます。

街ノベーションを大胆に行います。

◆ 高田の城下町重点策 ◆



・高田城「枳形門」「時の鐘塔」の復元・本町6丁目・大町5丁目を「昭和レトロのまち」に整備

- ★高田城址公園整備：枳形門の復元・時の鐘塔の復元・三層櫓を展望する和風レストランを新設・南北公園通りの切り替え整備（スタバと県地域振興局の間を十字交差点化）。
- ★本町3、4、5商店街の駐車料金を3時間無料化し、パークイングの無料化で活性化を図る。本町通りの月1回の歩行者天国化、アートストリート（絵画・彫刻など）化。
- ★本町3丁目～山麓線（大貫線）への2車線化を図り、本町通りへのアクセスを改善（H13に調査費予算化も実行せず）。
- ★狭隘道路への加温式消雪パイプの拡充及び雁木通りの雁木連続化整備（雪害対策）。
- ★高田駅横に合同庁舎建設（高田税務署・年金事務所・高校生広場など）、高田駅西口開設。寺町もみじ・あかりロードの町づくりを進めます。

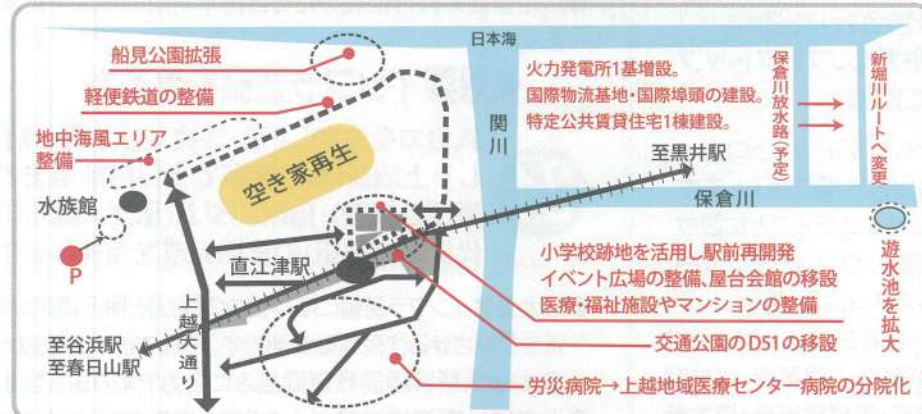
◆ 新幹線のまちづくり ◆



・「かがやき号の停車」・大区画整理事業化・コンパクトタウン「つながる街」を整備

- ★売店規模を拡張（ホーム北側線下）3倍化。ショッピングモール化に再整備。トイレ新設。
- ★「インテリジェントビル」=最先端の建築設備や高度な情報通信（IT）機能などを取り入れたビル。市が共同出資会社を立ち上げ建設。
- ★サテライトオフィス（丸の内界隈の事業所等を誘致）、サテライトキャンパス。
- ★北口市営パークを、西口調整池をパークング化し、そこへ移設。現在の北口パークを西口に
- 移設し、北口ロータリーを整備する。
- ★大和2・3丁目の西側農地の全面に大規模区画整理事業を導入。ファッショナブルなまち「つながる街」を創設。
- ★「トミオカホワイト」美術館の里帰りを西口釜蓋遺跡周辺に実現。
- ★多目的ドームの建設（調査研究）
- ★駅周辺にデジタル田園アーバンヴィレッジを複数建設

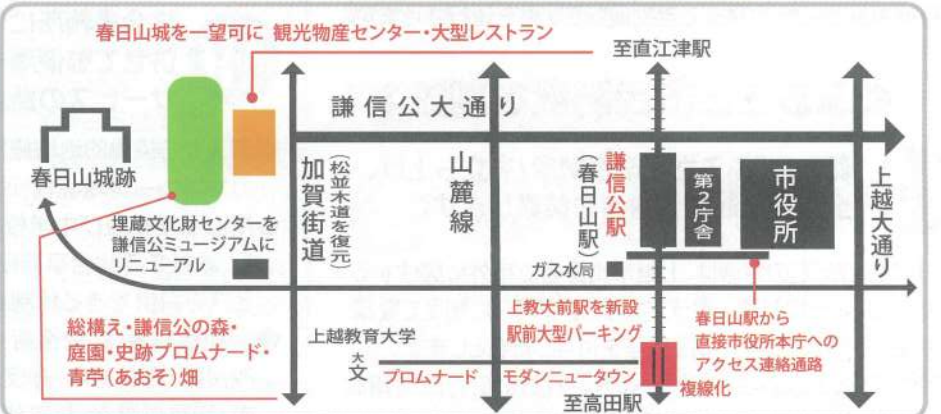
◆ 直江津・港の重点策 ◆



・直江津労災病院を存続させます・直江津駅前再開発（南小と直江津小統合）

- ★直江津駅前再開発：直江津南小学校を直江津小学校に統合、屋台会館を移設、三世代交流プラザ（含む商業施設）の建設、医療機関の整備・都市型住居等の整備、D51の駅前移設・軽便鉄道の移設（直江津レールタウン構想の一環として水族館へアクセスさせる）・イベント広場などを整備。
- ★直江津エネルギー基地内に水素製造基地を建設：日本海水加工跡地に大型太陽光発電所建設（12ha 規模約5メガ可能）・メタンハイドレート基地化を進める。
- ★直江津港に大型ガントリークレーンを導入。
- ★火力発電所の温熱利用で大規模植物工場整備・栽培漁業プラントを整備（サーモン・ウナギなど）。
- ★船見公園を保倉川放水路の残土を利用埋め立てし、海洋レジャー基地を整備。津波対策も万全にします。

◆ 春日山の城づくり ◆



・春日山城「総構え」の復元・春日山駅名を「謙信公駅」名に改称

- ★春日山城史跡公有地エリア隣接地（謙信公大通りの突き当たり、春日山城展望可）に、観光物産センターを移設。大型レストランを併設。
- ★春日山城史跡公有地（私が市長時代に取得）地内に「総構え・謙信公の森・庭園・遊歩道」を整備。
- ★春日山駅名を「謙信公駅」に名称変更。
- ★春日山駅から直接市役所本庁舎へのアクセス連絡通路（中庁舎も視野に）を整備。
- ★藤巻地内に上越教育大前駅を作り、教育・文化のまちづくりを進めます。
- ★加賀街道の「松並木」復元や青芋（あおそ）畑を整備します。

上越市のGDPを1兆円に!!

最低米価制（2万円以上）導入!